



地球の温暖化について教えて

地球の温暖化とは

長い間、地球の平均気温は、15℃ぐらいに保たれてきました。ところが、最近、地球の平均気温がだんだんと高くなってきました。産業の発達や生活環境の変化によって、空気中に放出される二酸化炭素や、水蒸気の量が多くなったのが原因、といわれています。これらの気体が、地球を温室のように暖めているのです。

温室効果をもたらす気体

地球は、太陽から放出される放射エネルギーを受け取っていますが、それらのエネルギーは、赤外線(熱線)という形で、地表から再び宇宙へ放出されます。ところが、大気中の二酸化炭素や水蒸気が、この赤外線を吸収するため、大気が暖められます。この二酸化炭素や水蒸気などを、温室効果気体といいます。このほかに、温室効果をもたらす気体には、メタン、フロン、亜鉛化ちっ素などがあります。これらの気体が多くなると、地球が暖まりすぎてしまうのです。

地球が異常になる

このまま二酸化炭素や、水蒸気の量などが増え続けると、21世紀末までに、地球の平均気温が、今より3℃ぐらい高くなるだろうと予想されています。平均気温が高くなると、各地の気候も変化し、動物や植物の生活にも、大きな影響をあたえます。また、南極や北極の氷がとけて、海面が15～95センチメートルくらい高くなる、と考えられています。
(監修・村山 貢司)

